

A 大学をモデルとした福祉系大学におけるキャリア形成支援

ーキャリア教育の導入の意義と社会福祉士養成課程との関係ー

○ 関西福祉大学 萬代 由希子 (6221)

藤原 慶二 (関西福祉大学・6433)

キーワード：社会福祉士養成課程、キャリア教育、職業教育

1. 研究目的

本報告は福祉系大学におけるキャリア形成支援のあり方として、A 大学をモデルに次の 2 点を明らかにすることを目的とする。ここでいう福祉系大学とは社会福祉士養成課程を有する大学のことである。

①キャリア教育、職業教育、社会福祉士養成課程の関係

②福祉系大学におけるキャリア教育導入の意義

2010（平成 22）年、大学設置基準が改正され、すべての大学でキャリア教育が義務化された（大学設置基準第 42 条の 2）。これは福祉系大学のように社会福祉士の受験資格取得を目的としてきた学生にとってどのような意味をもつのだろうか。すでに学生は自らのキャリアを考えているのではないだろうか。キャリア教育を実践する大学の姿勢として、キャリア教育義務化に伴う受動的導入であっては、キャリア教育自体が形骸化することが懸念される。この背景をもつ福祉系大学が、キャリア教育を導入する意義を明らかにする必要がある。加えて、社会福祉士養成課程との関係を明らかにすることで、それぞれが連携したなキャリア形成支援へと展開できると考えられる。

2. 研究の視点および方法

第一に、福祉系大学におけるキャリア教育と社会福祉士養成課程の関係を明らかにする。中央教育審議会（2010）が提示したキャリア教育と職業教育の定義を踏まえた上で、社会福祉士養成課程の関係を位置づける。そもそも、本報告ではキャリア教育と職業教育を区別する。その上で、社会福祉士養成課程との関係を明らかにする。

第二に、キャリア教育導入の意義について大学における社会福祉士養成の視点から明らかにする。社会福祉士養成課程を有する大学は全国に 198 校ある（2012 年 5 月時点の社会福祉士養成校協会への加盟校）。社会福祉士養成（＝資格取得重視）に傾斜すれば、大学としての本来の役割を見失うことにつながりかねない。

以上のことをこれまでの経緯を踏まえつつ、A 大学をモデルとしてその実際の取り組みを分析する。A 大学におけるこれまでの変遷を振り返るとともに、今後の展開も含めて分析を行う。

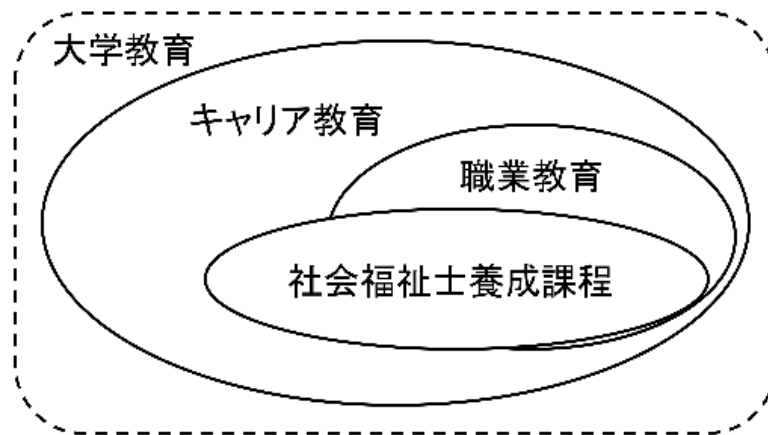
3. 倫理的配慮

本報告は日本社会福祉学会研究倫理指針を遵守している。

4. 研究結果

本報告において以下のことが明らかとなった。

①キャリア教育、職業教育、社会福祉士養成課程の関係は下図のように整理した。



②福祉系大学におけるキャリア教育導入の意義について、次の点を明らかにした。

社会福祉士養成課程におけるキャリア教育は、社会福祉士取得後にどのように働くかというロールモデルの提示が必ずしも十分ではない現状がある。さらに、社会福祉士取得後の就職先あるいは職能団体において、研修体制やスーパービジョン体制が充実しているとは限らない。そのため、学生自らが在学中から卒業後のキャリア形成に対して意識化し、中長期的に取り組む必要がある。よって、福祉系大学におけるキャリア教育導入には意義があると考えられる。

5. 考察

本報告は、A 大学をモデルとしているためすべてに当てはまるものではない。激変する大学を取り巻く環境に対応するためには、定期的な振り返りが必要となる。本報告では、A 大学をモデルに導入が義務づけられたキャリア教育と社会福祉士養成課程の関係を職業教育の概念を踏まえて整理した。そのことで福祉系大学がキャリア教育を導入する意義の一端を明らかにすることができた。

なお、詳細については当日のレジュメおよび発表で報告する。

■参考文献

中央教育審議会(2010)『今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)』